



毎年7月は「県産品奨励月間」・10月は「沖縄の産業まつり」です。

謹賀新年

輝かしい新春を迎え
皆様のご清福をお祈り申しあげます
本年も何卒よろしくお願いいたします

平成二十九年元旦

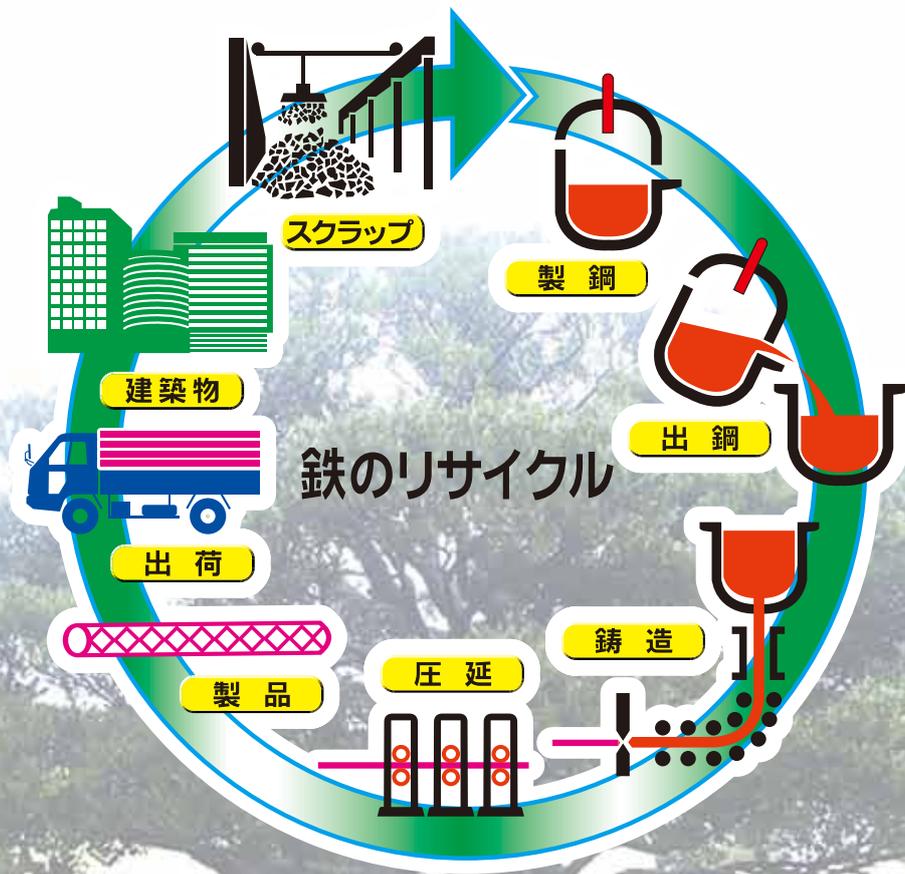


- 平成28年度 工連・JIS協会合同忘年会
- 「元気カンパニー」(株) 恩納ガラス工芸育成センター
- 故サムエル・C・オグレスビー氏 第50回追悼式
- 平成28年度 学校と産業界の交流事業

1 2017
月号

Vol.626

つまんちゆのチカラ。



資源には限りがあります。鉄も大事なりサイクル資源です。
鉄のリサイクルを始めて半世紀、これからも
沖縄経済の発展に寄与するとの使命感と、
ゼロエミッション社会の実現のため邁進してまいります。



拓南製鐵株式会社
<http://www.takunan.co.jp>

本社：沖縄県那覇市壺川3丁目2番地4(拓南ビル3F)
TEL098-832-0588 FAX098-832-0586
新中城工場：沖縄県沖縄市海邦町3番26
TEL098-934-6822 FAX098-934-6833
石灰工場：沖縄県名護市字安和西部間2656-2
TEL0980-53-8018 FAX0980-53-8067

月刊 **工連** ニュース 1月号 2017 Vol.626

- 2p >> 新年のご挨拶
- 3p >> 公益社団法人沖縄県工業連合会役員名簿
- 4~5p >> キラリ! 元気カンパニー「沖縄の未来を照らす企業」
卓越した技術と柔軟な発想で
琉球ガラス業界を牽引
株式会社恩納ガラス工芸育成センター
- 6~7p >> 平成28年度 工連・JIS協会合同忘年会
- 8~11p >> 年賀広告
- 12p >> 故サムエル・C・オグレスビー氏
第50回追悼式
(公社)沖縄県工業連合会
- 13p >> 平成28年度 オグレスビー氏奨学金交付式
(公社)沖縄県工業連合会
- 14p >> 沖縄県社会福祉協議会へ
拓南製鐵(株)が寄付
- 15p >> 沖縄コカ・コーラボトリング(株)浦添工場
燃料転換およびコージェネレーションシステム
によるCO₂削減事業竣工式
- 16p >> 平成28年度
新入社員研修セミナー・フォローアップ
(公社)沖縄県工業連合会
- 17p >> 平成28年度
学校と産業界の交流事業
株式会社佐喜真義肢/代表取締役社長 佐喜真 保氏
- 18p >> 平成28年 春・秋の叙勲 褒章
県功労賞・沖縄タイムス賞、琉球新報賞
受賞社合同祝賀会
- 19p >> 第33回 未来の科学の夢絵画展表彰式
(一社)沖縄県発明協会
- 20p >> 琉球大学工学部後援会からのお知らせ
気象予測に基づく発電電力予測ならびに
需用電力予測による最適運用法
- 21p >> 沖縄高専だより
第12回 沖縄高専フォーラム・情報交換会
を開催しました
- 22p >> 沖縄職業能力開発大学校
海洋ロボットコンペティションin沖縄
—沖縄海洋ロボットコンテスト—
- 23p >> 工業技術センターだより
沖縄の海から泡盛を造る!
- 24p >> トピックス
沖工連青年部会員募集
会員募集のご案内
会員の皆様へ

2016年12月 工連日誌

7日(水) 12月定例執行部会
●時間/12:00~13:30 ●場所/工連会議室

20日(火) 第50回オグレスビー氏 第50回追悼式
●時間/11:00~11:30 ●場所/泊外人墓地

9日(金) 工連・JIS協会合同忘年会
●時間/18:00~19:30
●場所/ダブルツリーbyヒルトン那覇首里城

知財総合支援窓口運営業務

知財総合支援窓口

中小企業など知的財産の有効活用をアドバイスします。

相談
無料

秘密
厳守

個別対応のため予約が必要です

ワンストップサービス

- 知財専門家が窓口へ常駐
- 知財専門家を派遣
- 知財ニーズの掘り起こし
- 知財に関する支援策の紹介
- インターネット出願を支援

中小企業・個人事業主・創業予定の個人の皆さまの特許、実用新案、意匠、商標、著作権等に関するご相談を無料でお受けしております。

※ご相談いただいた内容が第三者に知られる事はありません。
※詳しい日時に関してはお問合せください。

- うるま窓口(うるま) 毎週 月~金(祝祭日を除く)/9:00~17:00
- 外部窓口(那覇) 毎週 火・水(祝祭日を除く)/9:00~17:00
- 外部窓口(名護) 毎月 第4火曜日/9:00~17:00
- 外部窓口(宮古) 奇数月 第4金曜日/10:00~17:00
- 外部窓口(八重山) 偶数月 第4金曜日/10:00~17:00



全国共通お問い合わせ先



0570-082100 (有料)

TEL 098-995-8778

■独立行政法人 工業所有権情報・研修館事業/
実施：一般社団法人沖縄県発明協会

公益社団法人沖縄県工業連合会は「沖縄の産業まつり」や「県産品奨励月間」などの活動を通して、沖縄経済の自立化を目指しています。

●工連ニュースへのご意見や要望をお待ちしております。Eメールでもご参加ください。
E-mail/info@okikouren.or.jp ホームページ/http://www.okikouren.or.jp

発行所/公益社団法人 沖縄県工業連合会

那覇市字小祿1831-1沖縄産業支援センター6F

電話(098)859-6191 FAX(098)859-6193

編集・印刷/有限会社サン印刷 電話(098)889-3679

2017年 新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。二〇一七年の新春にあたり謹んでご挨拶を申し上げます。平素は、当会の事業運営にご支援を賜り深く感謝申し上げます。

さて、昨年の本県経済は全体的に好調に推移しました。観光分野では、アジアからのクルーズ船の増大などで観光客が大幅に伸び、過去最高の800万人を記録しました。建設分野では、那覇空港第2滑走路工事、モノレール延伸工事などが進行中で、公共工事を中心に活気があります。小売業も堅実な個人消費があり、例年なみに推移しました。県外からの企業誘致も、国際物流特区の賃貸工場の拡張が必要になるほど、需要が増えています。

その一方で、ほとんどの業種で人手不足が生じており、特に建設、ホテル、サービス業では深刻です。製造業でも正社員が不足するなど、今後の景気の維持に不安を残す状況にあります。

昨年6月、本会と南西地域産業活性化センター、台湾の経済団体の台日商務交流協進会とシンクタンクの台湾経済研究院の4者で経済連携協定の覚書(MOU)を締結しました。本会としては、初の海外との経済連携協定です。今後、山積する課題と向き合いつつ、ものづくり分野における技術及びビジネス交流を促進させ、両地域の経済発展に取り組んでいきたいと思えます。

さて、本会の昨年事業は「県産品奨

励事業」、「沖縄の産業まつり」を柱と

した各種事業を実施しました。県産品奨励事業は、期間中は天候に恵まれ、順調に全ての事業を進めることができました。沖縄の産業まつりは、40回

目の節目の開催となり、記念特別展として次世代型海洋産業の研究開発や事業を紹介する「海洋産業特別展」を実施し、各界から高い評価を受けました。また、「スケルトニクスロボット展」や「EV(電気自動車)展」も人気を博しました。出展者数は552社、来場者は約二十四万人余となり、沖縄県を代表する産業イベントに成長したことを、あらためて実感いたしました。開催に当たり、会員を初め、多くの関係各位の皆様のご支援ご協力に対



公益社団法人
沖縄県工業連合会会長
吳屋守章

し、衷心よりお礼を申し上げます。

その他の事業として、人材育成事業では「新入社員研修セミナー」、「新入社員研修セミナーフォローアップ」、「学校と産業界の交流事業」などを実施しました。

本年も本県製造業の発展を通して、本県経済の発展及び県民の生活向上に貢献できるよう邁進する所存でありますので、より一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。結びに、会員並びに関係各位の皆様にとりまして、実り多き年となりますよう祈念し、新年のご挨拶といたします。

平成二十九年 年初

謹賀新年

公益社団法人 沖縄県工業連合会

会 長	呉 屋 守 章	金秀アルミ工業(株)副会長	理 事	島 袋 正 也	(株)久米島の久米仙社長
副 会 長	新 垣 昌 光	オリオンビー ル(株)副社長	"	吉 長 盛 信	沖縄ガルバ(株) 社長
"	仲 田 龍 男	オキコ(株)社長	"	津 波 古 義 秀	(株)技建社長
"	古 波 津 昇	拓南製鐵(株)社長	"	仲 本 幸 平	沖縄テクノクリート(株) 専務
"	伊 仲 剛	琉球セメント(株)顧問	"	比 嘉 希	大和コンクリート工業(株) 専務
"	座 間 味 勲	(株)ざまみダンボール社長	"	佐 久 本 学	瑞泉酒造(株) 社長
"	島 袋 清 人	沖縄電力(株) 副社長	"	宮 城 幹 夫	金秀バイオ(株) 社長
専 務 理 事	桑 江 修	(公社)沖縄県工業連合会専務理事	"	長 野 真 知	(株)沖縄ポッカコーポレーション社長
理 事	與 那 覇 正 俊	丸正印刷(株)会長	"	仲 松 政 治	(株)石川酒造場社長
"	前 里 健 一	(株)まえさと会長	"	湧 川 直 明	沖縄ガス(株) 常務
"	長 濱 徳 勝	沖縄ハム総合食品(株) 社長	"	玉 那 覇 美 佐 子	沖縄県酒造組合会長
"	外 間 政 春	光文堂コミュニケーションズ(株) 社長	"	川 満 彦 三	金秀鉄工(株) 社長
"	新 城 博	(株)トリム会長	"	平 良 辰 二	(株)沖縄環境保全研究所社長
"	澤 岷 カズ子	(株)御菓子御殿会長	"	玉 寄 将	(株)開邦工業社長
"	眞 志 喜 実	沖縄鋳鉄工業(株) 社長	"	大 城 英 幸	沖縄県衣類縫製品工業組合代表理事
"	大 城 勤	忠孝酒造(株) 社長	"	高 安 正 勝	(株)ぬちまーす社長
"	仲 本 勝 男	(株)仲善会長	"	津 嘉 山 貞 雄	(株)日進ホールディングス社長
"	下 地 清 吉	(有)沖縄長生薬草本社社長	"	池 宮 力	沖縄プラント工業(株) 社長
"	屋 嘉 比 康 則	昭和製紙(株) 社長	"	村 田 紳	沖縄明治乳業(株) 社長
"	竹 内 一 郎	沖縄製粉(株) 社長	"	仲 里 伸 二 郎	沖縄県工業連合会青年部部会長
"	比 嘉 昌 治	(株)沖縄ホームメル社長	監 事	仲 村 朝 男	(株)名護鉄工所社長
"	大 江 聖 彌	RGC(株) 社長	"	岸 本 力	沖水化成(株) 社長
"	高 橋 俊 夫	沖縄コカ・コーラボトリング(株) 社長			



今年の 11 月には、「現代の名工」として東京の明治記念館にて厚生労働大臣より表彰を受けました。
(前列左から二人目)



キラリ! 元気 カンパニー

沖縄の未来を
照らす企業

卓越した技術と柔軟な発想で 琉球ガラス業界を牽引

株式会社 恩納ガラス工芸育成センター

「現代の名工」受賞

沖縄を代表する工芸品のひとつとして広く知られている琉球ガラス。その第一人者であり、ガラス職人としてのみならず、工房兼直売店「恩納ガラス工房」を経営する実業家としても活躍する宮國次男氏は、琉球ガラスの普及に長年力を尽くしており、その功績が認められ、今年度の「現代の名工」に選出されました。

「現代の名工」は、卓越した技能者表彰制度に基づき、厚生労働大臣によって表彰された卓越技能者の通称であり、昭和42年に創設され、今年度で50回目となります。11月21日(月)に東京都港区の明治記念館にて行われた表彰式において、厚生労働大臣より表彰状、卓越技能章として楯と徽章が宮國氏に贈呈されました。これまでも、沖縄県優秀技能者受賞、沖縄県優良県産品優秀デザイン賞等数多くの賞を受賞してきた宮國氏ですが、この「現代の名工」受賞により、その技術に対する評価がさらに高まっています。

宮國氏は9人兄弟の次男として宮古島で生まれ、兄の影響でガラス職人への道を歩みはじめます。16歳でガラス職人となり、昭和53年に現在の工房を設立。同時に開始した琉球ガラス作り体験サービスは観光客の間で話題となり、沖縄旅行の定番となっています。

規定概念にとらわれない斬新なデザインや革新的な作品づくりで知られており、近年では、琉球ガラスの技術をインテリア、建築に応用した「アートガラス」の開発、普及に力を入れており、特にドアや窓、タイル、表札は、沖縄の自然をモチーフにした

ものを中心に、県外、海外でも需要が高まりつつあります。これまで食卓を中心に使われてきた琉球ガラスを建築という新しい分野に広げたことで、新しい琉球ガラス文化を形成しています。リゾートホテルやチャペルのほか、新築やリフォームの際にアートガラスを取り入れたいというオーダーも増加しており、制作が間に合わないほどだといいます。県産品マークも取得し、新しい県産品として広く認識されつつあります。

「琉球ガラスの可能性は無限に広がっている。インテリア、雑貨、アクセサリーと様々な形で生活に寄り添うものであってほしい」と宮國氏は語り、琉球ガラスをさらに進化させたいと意欲を高めています。

受注が殺到する中、海外視察や展示会訪問も積極的に行っています。

「職人の中にはじっと工房にこもって自分の世界を創り上げる人もいるが、自分はいろんな場所で行くんなものを見てインスピレーションを得たいと常に思っている」とし、異なる分野の展示会にも足を運んでいるといいます。とりわけ欧州、アジアの工芸品、ガラス文化への関心が高く、海外の文化にも色濃く影響を受けているそうです。

「海外からの観光客も増えており、沖縄の魅力をこれまでにないかたちでアピールすることが必要。そのためには広い視野を持たなくてはならない」と、海外展開にも力を入れています。

「生涯現役」にこだわり 若手職人育成にも尽力

還暦を越えた現在も第一線で活躍し、依頼主とのミーティングから観光メニューの



株式会社 恩納ガラス工芸育成センター
琉球ガラスアーティスト 宮國次男



琉球ガラスの技術をインテリア、建築に応用した「アートガラス」の開発、普及に力を入れており、沖縄の自然をモチーフにしたものを中心に、需要が高まりつつあります。



作成まですべての業務に携わっています。「生涯現役」をテーマとし、「手足が動かなくなるまで作品を作り続ける」と宣言しています。「賞をいただいたのはありがたいことだが、これがゴールではなく、むしろすでに次の挑戦がはじまっている」と、さらなる自己研鑽に励んでいます。

また、これまで培ってきた技術と経験を若い世代へと継承するため、後進の育成にも力を入れており、「恩納ガラス工芸育成センター」を立ち上げ、数多くの弟子をガラス工芸の世界へ送り出してきました。現在も二十代の若い弟子を多く指導しています。十代で工房の門を叩き、十年以上修行に励む職人もいます。現在、ガラス職人の数は減少傾向にあり、琉球ガラスの文化を守るためにも、若手育成は急務とされています。

「ガラス工芸はレーザー機器を用いて彫刻を行うが、この作業の中で、ガラスファイバーが無数に飛び散り、肌が痒くなったり息が苦しくなったりと健康を害することがある。また、密閉した空間が必要のため、夏場は熱気がこもり、サウナのような環境の中で黙々と細かい作業をしなければならぬ。こういった厳しい環境が、ガラス工芸の世界から若者を遠ざける要因のひとつになっている」と宮國氏は話し、これらの問題を解消する機器の開発や環境改善も考慮する必要があるとしています。

また、恩納ガラス工芸育成センターでは社会研修も受け入れており、小学生から大学生まで幅広い世代に琉球ガラス作り体験を通じて仕事への意欲や夢を実現させることの大切さを説いています。「自分は不器用だからとか頭が悪いからと

かそういった言い訳をして夢を諦めてはいけない。目標に向かって逃げることもなくまっすぐ突き進むことが大事」と、十代のときからガラス工芸に没頭し、全国的に評価されるまでに至った自らの経験を次世代へ伝えていきます。

県内初のガラスをコンセプトにしたテーマパーク「ゴルドラビリンズ」やアクリル板ごしに工房の様子を観察することができる見学スペースの開設など、現在も様々な施設や観光コンテンツを創出している宮國氏。40年の工房の歴史を振り返り、「周囲の理解を得られなかったり思うような結果が出なかったりといったこともあり、決して成功体験ばかりではなかったが、琉球ガラスの可能性を広げたいという思いでこれまでやってこられた」と、「現在の自分があるのは、職人の我俣を許し、教員の職を辞してまで尽くしてくれた妻のおかげ。賞は妻に捧げたい」と、40年間支えた妻への感謝を表しました。



株式会社恩納ガラス工芸育成センター

業種 琉球ガラスの製造販売業
設立 昭和53年11月3日
代表取締役 喜納正誠
住所・連絡先 恩納村字富着85番地
TEL.098-965-3090・FAX.098-965-5841
オフィシャル http://www.onna-glass-okinawa.co.jp
サイト





(公社)沖縄県工業連合会
呉屋守章 会長



沖縄県JIS協会
古波津昇 会長



平成28年度 工連・JIS協会合同忘年会

両団体の会員同士や関連団体・企業間での親睦を深め、一年の労をねぎらうことを目的として毎年行われている沖縄県工業連合会と沖縄県JIS協会による合同忘年会が、12月9日那覇市のダブルツリーbyヒルトン那覇首里城にて開催されました。

師走の忙しい時期にも関わらず多くの会員や関連企業職員が参加し、また、沖縄県からも来賓があり、一年の締めくくりとしてふさわしい華やかな会となりました。

主催者を代表してあいさつした沖縄県工業連合会呉屋守章会長、沖縄県JIS協会古波津昇会長は、それぞれ一年の活動を報告し、支援・協力への感謝の言葉を述べました。開会の挨拶を務めた呉屋会長は、「県産品パレード、沖縄の産業まつりとともに今年は晴天に恵まれ、いずれも沖縄の観光の風物詩となりつつある。これも長く続けてきたからこそであり、加盟企業・職員のおかげ」とし、古波津会長も「今年は行政や

企業の尽力のもと沖縄の製品を海外に発信する動きが活発化したよい一年だった。来年以降も農作物から工業製品、サービス商品に至るまですべてにおいてレベルを向上させるため努力し、県産業を発展させていこう」と呼びかけました。古波津会長は乾杯の音頭も務め、会長の掛け声のもと、ビールや泡盛で乾杯し、和やかな懇談の場が持たれました。

拓南製鐵株式会社古波津昇社長やまさひろ酒造株式会社新城満社長他、今年様々な賞を受賞した方々への花束贈呈式も行われ、沖縄県の産業界に大きく貢献した受賞者へあたたかな祝福の拍手が送られました。加盟企業の協賛による景品が当たる抽選会もあり、当選した方々は古酒や商品券等豪華な景品を手笑顔で帰宅されました。

短い時間ではありましたが、会員同士が親睦を深め、両団体の結束力が高まった貴重な一夜となりました。



(公社)沖縄県工業連合会
新垣昌光 副会長



平成28年度 各種表彰受賞者

	受賞名	受賞者	会社名及び役職	主催
個人表彰	第60回沖縄タイムス賞 産業賞	嘉手苅義男	オリオンビール(株) 社長	沖縄タイムス社
	第52回琉球新報賞 経済・産業功労賞	〃	オリオンビール(株) 社長	琉球新報社
	県連功労者表彰	古波津 昇	拓南製鐵(株) 社長	(一社)沖縄県法人連合会
企業表彰	平成28年度 知財功労賞 経済産業大臣表彰	嘉手苅義男	オリオンビール(株) 社長	特許庁
	地方優良事業所表彰	古波津 昇	拓南商事(株) 社長	(公社)全国産業廃棄物連合会
	優良業者(優良施工工事) 平成25年度泊高橋補修工事	宮 憲 男	沖縄ピーシー(株) 社長	内閣府沖縄総合事務局
	優良業者(安全施工工事) 平成25年度泊高橋補修工事	〃	沖縄ピーシー(株) 社長	南部国道事務所
	平成28年度 那覇市優秀建設工事業者	大嶺 克成	(株)沖電工 (沖電工・大晋建設・スタブラニング・共同企業体)	那覇市
	JIA優秀建築賞	〃	(株)沖電工	(公社)日本建築家協会
	優良賞	〃	(株)沖電工 (沖電工・大晋建設・スタブラニング・共同企業体)	建設業労働災害防止協会
	Monde Selection グランドゴールドメダル(最高金賞)	新城 満	まさひろ酒造(株) 社長	Monde Selection (モンドセレクション)
	沖縄国税事務所長賞(優等賞)	〃	まさひろ酒造(株) 社長	沖縄国税事務所(泡盛鑑評会)



景品寄贈企業

合同忘年会を開催するにあたり、下記企業各社に商品などの寄贈を賜りました。誠に有り難う御座いました。

(株)石川酒造場
 沖縄テクノクリート(株)
 沖縄ダイカポリマー(株)
 金秀鉄工(株)
 沖縄ハム総合食品(株)
 拓南製鐵(株)
 (株)黒糖本舗 垣乃花
 (株)沖縄ポッカコーポレーション
 (株)技建
 (株)日進商会
 (株)沖縄環境保全研究所
 沖縄製粉(株)
 沖縄県印刷工業組合
 沖縄ココ・コーラボトリング(株)
 沖縄ガス(株)
 (株)沖縄コンクリート
 沖縄森永乳業(株)
 (株)ざまみダンボール
 沖縄明治乳業(株)
 久米仙酒造(株)
 (株)赤マルソウ
 (株)久米島の久米仙
 光文堂コミュニケーションズ(株)
 金秀アルミ工業(株)
 (株)名護鉄工所
 (資)沖縄関ヶ原石材
 沖電水工事(株)
 全日本空輸(株)沖縄支店
 (株)サン食品
 フォーモストブルーシール(株)
 拓南伸線(株)

沖縄ガルバ(株)
 (株)おきさん
 (株)御菓子御殿
 (株)沖電工
 オキコ(株)
 (株)沖縄県物産公社
 久米島海洋深層水開発(株)
 (有)海邦生コン工業
 沖縄プラント工業(株)
 リウコン(株)
 沖電企業(株)
 瑞穂酒造(株)
 琉球セメント(株)
 (有)モダン広告
 (株)ファッションキャンディ
 (株)まえさと
 丸正印刷(株)
 沖縄県酒造組合
 (株)屋部土建
 (株)アドスタッフ博報堂
 (株)リウボウ旅行サービス
 拓南商事(株)
 拓南本社(株)
 (株)沖縄ホーム
 (有)祐食品
 (株)スカイ企画
 (株)拓琉金属
 沖水化成(株)
 (株)トミコン
 大同火災海上保険(株)
 瑞泉酒造(株)

(株)嘉数グラビヤ
 沖縄テレビ放送(株)
 沖縄電力(株)
 金秀バイオ(株)
 (株)沖縄銀行
 (株)エムズ
 (株)金秀本社
 ANAクラウンプラザホテル沖縄ハーバービュー
 金秀鋼材(株)
 オリオンビール(株)
 (有)沖縄長生薬草本社
 まさひろ酒造(株)
 (株)JAL JTAセールス
 RGC(株)
 ダブルツリーbyヒルトン那覇首里城
 沖縄県生コンクリート工業組合
 沖縄ツーリスト(株)
 沖縄都ホテル
 (株)琉球新報社
 協和工業(株)
 台北駐日経済文化代表処那覇分処
 (株)沖縄産業振興センター
 (株)サンデン企画



鉄のリサイクルを通して
社会に貢献する
沖縄唯一の電炉メーカー
(ISO9001 審査登録)



拓南製鐵株式会社

代表取締役社長 古波津 昇

本社 那覇市壺川3-2-4 ☎ 098-832-0588
 新中城工場 沖縄市海邦町3-2-6 ☎ 098-934-6822
 石灰工場 名護市字安和 2656-2 ☎ 0980-53-8018

おいしい幸せ
オキコ

Orion

オリオンビール株式会社

代表取締役社長 嘉手苅 義男

〒901-2551
 沖縄県浦添市字城間1985番地の1

代表 (098)877-1133 <http://www.orionbeer.co.jp/>

輝やかに新春を迎え
 皆様のご清福をお祈り申しあげます
 本年も何卒よろしくお願いいたします
 平成二十九年元旦

ハイウェイ沖縄

代表取締役 町田宗信

SUN
 PRINTING CO.,LTD.



心を動かす彩がある

代表取締役社長 宮城 剛

サン印刷
サン印刷 有限会社

〒901-1111 沖縄県南風原町字兼城577
 TEL 098-889-3679 ・ FAX 098-889-4282

大切にします。沖縄の味！

① 沖縄製粉株式会社

代表取締役会長 竹内 聡
代表取締役社長 竹内 一郎

〒900-0035 沖縄県那覇市通堂町1番1号
TEL (098) 868-3141 FAX (098) 868-8279
<http://www.okifun.com>

沖縄ダイカポリマー株式会社

硬質塩化ビニル管

ダイカパイプ
パイプでつなぐ
「ゆいま〜る」

本社:〒904-2234 沖縄県うるま市宇州崎12番91
【営業】TEL.098-989-6081・FAX.098-989-8752
【工場】TEL.098-989-8751・FAX.098-989-8752

 ビニールパイプ
ポリエチレンパイプ 製造販売

県産品を愛用しましょう。

沖水化成株式会社

代表取締役 岸本 力

本社 〒904-2162 沖縄市海邦町3-14
TEL.(098)982-1371 FAX.(098)921-2336

株式会社 電装技研



きもち、つつみ、つながる。

KAKAZ

株式会社 嘉数グラビヤ

糸満市西崎町5-3-6 西崎工業団地内
☎ 098-992-4011 FAX 098-994-2294
HP:<http://kakaz.info/>

おかげさまでちんすこうショコラは20周年



誕生20周年記念
プレミアム
ちんすこうショコラ

 (株) ファッションキャンディ
<http://www.fashioncandy.co.jp/>

新発売!

沖縄県知事許可(般・27) 第9913号

株式会社 電装技研

キュービクル・制御盤 電気工事
配分電盤・計装盤・製作販売

代表取締役 渡慶次 道安

〒903-0113 沖縄県中頭郡西原町安室41番地
TEL.(098)946-6591・FAX.(098)946-6594 E-Mail dsgk2000@lime.ocn.ne.jp



沖縄の海水塩 「青い海」

シママース本舗

 株式会社 青い海

TEL 098-992-1140
FAX 098-994-8464
<http://www.aoiumi.co.jp>



信頼で創るより良い環境

電気設備工事・電気通信工事・消防施設工事 施工

沖電水工事株式会社

代表取締役 小波津 聡

本社 〒900-0016 那覇市前島2丁目1番10号 TEL(098)867-6311(代) FAX(098)868-3282
西原営業所 〒903-0117 西原町翁長240-1 TEL(098)945-4742 FAX(098)945-4728



ダンボール・パッケージの

総合紙器

(098) 992-1111

RYUKYU AWAMORI KUMEJIMAS KUMESEN



琉球泡盛
久米島の
久米仙

ここが旨さのふるさとです

株式会社 久米島の久米仙 www.k-kumesen.co.jp
本社・工場/沖縄県辰野郡久米島町宇江城2157 TEL098-985-2276(代)
営業本部/沖縄県浦添市港川2丁目3番3号 TEL098-878-2276(代)
お酒は20歳になってから。妊産婦の飲酒はお控え下さい。お酒は適量に。

沖縄県生コンクリート工業組合

理事長 島袋 等

生コンクリートは「品質管理監査合格工場」が安心です。

.....ご用命は各地区協同組合へ.....

沖縄県生コンクリート協同組合 868-8001(那覇)・975-1820(中部)
 沖縄北部地区生コンクリート協同組合 0980-52-3129
 宮古島生コンクリート協同組合 0980-72-1909
 石垣島生コンクリート協同組合 0980-87-0964

- オキボール ● 沖縄ハイボール ● 照明・防球ネット用ボール
- 防災無線・携帯電話アンテナ用ボール ● ボール建柱工事施工一式
- 都市景観美化用コンクリート製品全般 ● PHC・CPRCパイプ
- 高支持力杭工法及び各種杭打工法の施工 ● C.C.BOX(電線共同溝)
- その他地中化製品 ● テールアルメ工法(補強土壁工法)
- プレキャスト製品の設計・製造販売・施工

コンクリートテクノロジーの未来をみつめて

沖縄テクノグリー株式会社

代表取締役社長 仲本 幸文

本社 / 〒900-0003 沖縄県那覇市字安謝620番地 TEL.(098)868-2522
 海邦工場 / 〒904-2162 沖縄県沖縄市海邦町3番地1 TEL.(098)934-5512



“優良県産品”トイレブース「ちゅらブースGANZYUU」[耐水仕様]



沖縄三和シャッター株式会社

代表取締役社長 尾上 裕昭

〒901-0212 豊見城市字平良 84-1

本社 TEL.(098)840-5538 沖縄北営業所 TEL.(098)965-5538
 製造部 TEL.(098)965-5151 石垣営業所 TEL.(0980)83-3838

<http://www.okinawa-sanwa.co.jp/>

人と人をつなぐ 幸せを、いつまでも。



光文堂コミュニケーションズ(株)

本社 〒901-1111 沖縄県島尻郡南風原町字兼城577番地
 TEL.098-889-1131 FAX.098-835-6111

<http://www.kobundo.net>

ユニフォームの総合販売

企業ユニフォーム及びかりゆしウェア製造販売
 官公庁制服・学生服・製造販売



株式会社 日進商会

〒901-0306 沖縄県糸満市西崎町4丁目21-7
 TEL(098)840-3033 FAX(098)840-3010

MAJUN®

優れた技術でより良い製品を提供します

《(有)海邦ベンダー工業

〒901-0306 沖縄県糸満市西崎町五丁目14番地9
 TEL(098)994-7465 FAX(098)994-7467

卓越した味わいを皆様の食卓へ。



株式会社 沖縄ホームル

代表取締役社長 比嘉 昌治

泡盛業界初
 国際酒造博覧会(神戸) 3年連続三ツ星(最優秀賞)受賞
 全日本酒造連盟賞
 純米酒 残波 ZANPA PREMIUM
 株式会社 比嘉酒造
 URL: <http://www.zanpa.co.jp>
 本酒造は2010年を境として、ステップアップ運動、目標や使命感の醸成は、結果として品質に影響するおそれがありますので、お気づきください。

謹賀新年
 平成二十九年新春

ONNA OGC GLASS

Glass craft learning center

琉球ガラス販売あり、体験あり、建築関係県産品展示中

恩納ガラス工房 0120-34-1598

株式会社 恩納ガラス工芸育成センター

本社 / 沖縄県恩納村字富着85番地 TEL.098-965-3090・FAX.098-965-5841

代表取締役社長
 塩山 泰章



ISO 9001 認証工場

株式会社 積水化成成品沖縄

〒904-2205 沖縄県うるま市字柴野比1178-2 TEL.(098)972-8085(代)・FAX(098)972-3658

沖縄ガスリビング株式会社
 代表取締役 長
岡田 邦宏
 〒904-2234 沖縄県うるま市字州崎二番九一
 電話 〇九八八八七四二〇〇
 FAX 〇九八八八三六四二〇

沖繩ダイカポリマー株式会社
 代表取締役
沖吉 隆
 〒904-2234 沖縄県うるま市字州崎二番九一
 電話 〇九八八八七四二〇〇
 FAX 〇九八八八三六四二〇

株式会社御菓子御殿
 代表取締役 長
澤 岷 英 樹
 〒904-0328 沖縄県中頭郡読谷村字宇座六五七番地一
 電話 〇九八八八七三三三
 FAX 〇九八八八七三三〇

**文化シヤッターグループ
BX沖繩文化シヤッター株式会社**
 代表取締役 長
下田 伸一
 〒901-0205 豊見城市字根差部六六七
 電話 〇九八八五〇一六一六
 FAX 〇九八八五〇一六一四一

沖繩長生薬草本社
 代表取締役
下地 清吉
 〒901-1405 沖縄県南城市佐敷字仲伊保一六一一
 電話 〇九八八四七三二二四
 FAX 〇九八八四七三二二九

総合紙器株式会社
 代表取締役
儀間 聖輝
 〒901-0306 沖縄県糸満市西崎四一九
 電話 〇九八八九二一一一一
 FAX 〇九八八九二一一三二八

株式会社開邦工業
 代表取締役
玉 寄 将
 〒904-2234 沖縄県うるま市字州崎七番地一九
 電話 〇九八八八三三二二二
 FAX 〇九八八八三三二二〇

琉球セメント株式会社
 代表取締役 長
西村 聰
 〒901-2123 浦添市西洲二丁目二番地二
 電話 〇九八八七〇一〇八〇
 FAX 〇九八八七〇一〇八三

有限会社 祐食品
 代表取締役 長
神谷 徳春
 〒901-0403 沖縄県島尻郡八重瀬町字世名城五三六一一
 電話 〇九八八八七五七五
 FAX 〇九八八八七五七六

大同火災海上保険株式会社
 代表取締役 長
上間 優
 〒900-8586 沖縄県那覇市久茂地一丁目十二番地一
 電話 〇九八八八七二二六一
 FAX 〇九八八八七二二二三

リウココ株式会社
 代表取締役 長
大城 正治
 〒903-0204 西原町字小那覇一八七番地
 電話 〇九八八四五一三七七八
 FAX 〇九八八四五一五〇六五

秀 金秀アルミ工業株式会社
 代表取締役 長
比嘉 治彦
 〒903-0204 本 社 沖縄県西原町字保久二二七番地
 管理本部 電話 〇九八八三五一八二〇〇
 FAX 〇九八八三五一八二〇六

株式会社 あきさん
 代表取締役 長
富永 進
 〒904-0202 嘉手納町字屋良一〇二二
 電話 〇九八八九六一二二八八
 FAX 〇九八八九六一八八九三

沖繩ガス株式会社
 代表取締役 長
我那覇 力蔵
 〒900-0025 那覇市西三丁目二番地一
 電話 〇九八八八三三二二二
 FAX 〇九八八八三三二二〇

RGC株式会社
 代表取締役 長
大江 聖彌
 〒901-0345 沖縄県糸満市字福地二六九番地
 電話 〇九八八八七四七八四
 FAX 〇九八八八七四九四四

沖繩セラー電話株式会社
 代表取締役 長
湯浅 英雄
 〒900-8540 沖縄県那覇市松山一丁目一番一
 電話 〇九八八八六一〇四三
 FAX 〇九八八八六一〇四三

株式会社 積水化成成品沖繩
 代表取締役 長
塩山 泰章
 〒904-2205 沖縄県うるま市字宗野比一七七八一
 電話 〇九八八八七二一五〇八五
 FAX 〇九八八八七二一三五八

拓南製鐵株式会社
 代表取締役 長
古波津 清昇
 〒900-0025 那覇市字壺川三丁目二番地四
 電話 〇九八八三三二〇五八八

拓南製鐵株式会社
 代表取締役 長
古波津 昇
 〒900-0025 那覇市字壺川三丁目二番地四
 電話 〇九八八三三二〇五八八

拓南伸線株式会社
 代表取締役 長
古波津 昇
 〒900-0025 中頭郡中城村字伊舎堂三二番地
 電話 〇九八八八九五二二二五二

株式会社 沖電工
 代表取締役 長
大嶺 克成
 〒900-0025 那覇市壺川二丁目十一番地十一
 電話 〇九八八八三三二二二
 FAX 〇九八八八三三二二〇

株式会社 沖繩ホーム
 代表取締役 長
比嘉 昌治
 〒901-2406 沖縄県中城村字当間七五八番地
 電話 〇九八八八五一一三三一

株式会社 沖繩ホーム
 代表取締役 長
比嘉 昌治
 〒901-2406 沖縄県中城村字当間七五八番地
 電話 〇九八八八五一一三三一

株式会社 沖繩ホーム
 代表取締役 長
比嘉 昌治
 〒901-2406 沖縄県中城村字当間七五八番地
 電話 〇九八八八五一一三三一

株式会社 沖繩ホーム
 代表取締役 長
比嘉 昌治
 〒901-2406 沖縄県中城村字当間七五八番地
 電話 〇九八八八五一一三三一

株式会社 沖繩ホーム
 代表取締役 長
比嘉 昌治
 〒901-2406 沖縄県中城村字当間七五八番地
 電話 〇九八八八五一一三三一

株式会社 近代美術
 代表取締役 長
大城 恵美
 〒901-1111 沖縄県南風原町字兼城二〇六
 電話 〇九八八八八九四一三三
 FAX 〇九八八八八九四一三三

沖繩銀行
 頭取
玉城 義昭
 〒900-0025 那覇市久茂地三丁目十一
 電話 〇九八八八七二二二四一

故サムエル・C・オグレスビー氏 第50回追悼式

第二次世界大戦終焉の激戦地として灰燼と化した沖縄に米国民政府職員として赴任され、沖縄の良き理解者として沖縄の経済、特に工業の振興に献身的に尽くした、「沖縄産業の恩人」のサムエル・C・オグレスビー氏。その功績を讃え、感謝と尊敬の念をこめて、毎年命日(12月20日)には那覇市泊の国際墓地に建てられた顕彰墓碑の前で追悼式を行っています。

今年は没後50年の節目とあり、参加者は皆一様に感慨深い面持ちで墓前に花を捧げました。

沖縄県工業連合会を代表して挨拶した呉屋守章会長は「県民に寄り添い、生涯をかけて尽くしてくれたオグレスビー氏の存在をこの先もしっかりと胸に刻み込もう」と呼びかけ、故人の遺志を継ぎ、県産業の未来のため努力を重ねることを墓碑に約束しました。

沖縄県工業連合では、オグレスビー氏工業功労者賞やオグレスビー氏産業開発基金の設立を通して、オグレスビー氏の功績と遺志を次世代へと繋げていく活動を継続して行っており、没後50年が経過した現在でもその名は沖縄県の産業界において光り輝いています。



沖縄産業の恩人
サムエル・C・オグレスビー
(1911～1966)



(公社)沖縄県工業連合会
呉屋守章会長



オグレスビー顕彰墓碑

サムエル・C・オグレスビー氏は、1911(明治44)年10月25日、アメリカ合衆国バージニア州で生まれ、1933(昭和8)年、メリーランド大学博士課程を卒業します。

1942(昭和17)年米国防軍に従軍し、1945(昭和20)年3月には、米陸軍政府将校として米沖し、その後エール大学で極東問題と日本語の研鑽を積みました。

同氏は、1950(昭和25)年3月、第二次世界大戦終焉の激戦地として灰燼と化した沖縄に米国民政府職員として赴任され、沖縄の良き理解者として沖縄の経済、特に工業の振興に献身的に尽くされました。沖縄勤務の16年間、琉球工業連合会(現沖縄県工業連合会)のよきアドバイザーとして深くかかわり多くの産業を育てました。

製糖、味噌醤油、食油、ビール、セメント、鉄筋、合板、菓子類に至る各製造業の90%は同氏の後援・指導を受けました。

1963(昭和38)年5月21日に琉球工業連合会は創立10周年を迎え、これを記念して、会員の芳志を募り、オグレスビー氏の胸像を制作することを決定しました。

やがて、胸像が完成し、翌年1964(昭和39)年12月2日、贈呈式と祝賀会が行われました。

その2年後、1966(昭和41)年12月20日、オグレスビー氏が逝去。

「沖縄に埋葬してほしい」との遺言により、泊国際墓地に埋葬されています。

1967(昭和42)年オグレスビー氏の長年の功績を記念して、「オグレスビー氏産業開発基金」が設立されました。

同基金では毎年、沖縄の工業発展に著しく功績のあった方に「オグレスビー氏工業功労者賞」の授与と工業高校・沖縄高専の学生に奨学金を支給しています。

平成28年度 オグレスビー氏奨学金交付式

平成28年12月12日(月) (公社)沖縄県工業連合会



南部工業高校2年
糸数 凌さん



(公社)沖縄県工業連合会
桑江 修 専務理事



(公財)沖縄県国際交流・人材育成財団
山田 保 理事長

平成28年度のオグレスビー氏奨学金交付式が宜野湾市の沖縄県国際交流・人材育成財団で開催されました。本年度は南部工業高校2年の糸数凌さんと宮古工業高校1年の具志堅龍希さんが奨学生として選出され、それぞれに10万円の奨学金が贈られました。

オグレスビー氏奨学金制度は、沖縄県の産業発展に大きく貢献された故サムエル・C・オグレスビー氏の功績を記念して設立されたものであり、今年度がちょうど50回目の節目となります。これまでに108名の学生が奨学生として採用されており、次代を担う工業育成に役立てられています。

記念すべき50回目の奨学生となった糸数さんは配管工事の技術をおもに学んでおり、「将来は海外での配管工事やビルメンテナンスの仕事をしたい」と、国際的に活躍できる職業人を目指して英語の勉強にも取り組んでいます。

工業連合会桑江修専務は、「アメリカ

力をはじめとする先進国においては配管工事技術者の需要も高く、また高い技術レベルも求められる。しかし、ニーズに答えられるだけの技術が備わっていれば、チャンスも多いはず。とてもよい視点を持っている」として、未来ある高校生を激励しました。

また、離島在住で出席はかなわなかった具志堅さんも、「第1種電気工事士や危険物取扱者など資格取得に取り組み、自転車競技部の活動も学業と並行して行いたい」と、文書でコメントを寄せました。

桑江専務は、「50回目の節目として記録に残るであろうふたりの高校生に大きな期待を持っている」とし、「奨学金を有効に使い、将来のために日々努力を積み重ねてほしい」と激励しました。また、2年後に沖縄県での開催が予定されている技能五輪についてもふれ、沖縄の高校生の健闘を祈りました。



拓南製鐵(株)創立60周年記念事業 沖縄県社会福祉協議会及び熊本県社会福祉協議会へ寄附を贈呈

平成28年12月15日(木)



沖縄県社会福祉協議会
湧川昌秀 会長

拓南製鐵株式会社
古波津 昇 代表取締役社長

拓南製鐵株式会社が創立60周年の記念事業として、沖縄県社会福祉協議会及び熊本県社会福祉協議会へ500万円ずつ合計1千万円を寄附することを発表し、12月15日沖縄県総合福祉センターにおいて贈呈式が行われました。

贈呈式では、拓南製鐵株式会社古波津昇社長から沖縄県社会福祉協議会湧川昌秀会長へと寄附金の目録が手渡されました。

古波津社長は、「創立60周年を迎えるにあたり、様々なアイデアが出たものの、祝賀会を開催するよりもさらに有効な予算の活用方法はないかと考えた」と今回の寄附に至った経緯を説明。創業者である古波津清昇会長が社会貢献への強い思いを抱いていたことに加え、古波津社長自身も中学から大学までの10年間を熊本で生活していたことから、震災以降頻繁に被災地を訪問し、物資支援を行っていたといます。また、今回の熊本地震の教訓を活かし、沖縄県においても、グループ会社社員を中心に、周辺地域の

住民へ向けても防災対策強化を訴えていきたいとしています。すでに熊本県社会福祉協議会への訪問も終え、寄附金500万円を贈呈しております。湧川会長は寄附への感謝と60周年の祝辞を述べ、「寄附金は大切に使用させていただく。これからも沖縄の産業界を牽引する存在であってほしい」と激励の言葉を送りました。

かねてより沖縄県工業連合会を通じて親交の深い湧川会長と古波津社長は、贈呈式終了後も経済や福祉活動についての話に華が咲き、和やかな時間となりました。



沖縄コカ・コーラボトリング(株)浦添工場 燃料転換およびCO₂削減事業竣工式 導入によるCO₂削減事業竣工式

平成28年12月1日(木)



「始動」のスイッチを入れる
沖縄コカ・コーラボトリング株式会社 高橋俊夫 代表取締役社長



沖縄コカ・コーラボトリング株式会社
上村行弘 取締役



新菱冷熱工業株式会社
中村啓三 副社長執行役員

沖縄コカ・コーラボトリング株式会社において、沖縄県の産業分野で初となる「燃料転換およびCO₂削減事業」が導入されました。

現在、更新時期を迎えているA重油油焚きボイラー2基をより環境負荷の低いLNG焚きボイラーに更新。またLNGを使用したCO₂削減システム(電熱供給)システムを導入し、クリーンエネルギーを用いた電気及び蒸気の安定供給を行うことで、一般住宅約220戸分のCO₂排出量(約720t・CO₂)の削減が実現できます。また、CO₂削減システムと商用電力の連携により、電源の二重化、安定化を図ることができ、商用系統の停電時における重要負荷への電力確保が可能となります。災害などの非常時でも事業継続計画(BCP)が可能となり、信頼性の高

いエネルギー供給システムの構築は今後防災兼用としての活用も期待されています。

沖縄コカ・コーラボトリング株式会社浦添工場にて行われた導入記念式典では、沖縄コカ・コーラボトリング株式会社高橋俊夫社長、施工した新菱冷熱工業株式会社中村啓三副社長他関係者が多数出席し、新システムの導入を祝うとともに、事業の成功を祈りました。

セレモニー終了後には社屋にて懇親会も行われ、高橋社長を囲んで和やかな歓談の場となりました。



懇親会で乾杯の挨拶を述べる
沖縄コカ・コーラボトリング株式会社 城英俊 取締役副社長

平成28年度 新入社員研修セミナー・フォローアップ

平成28年11月30日(水)

(公社)沖縄県工業連合会



沖縄県工業連合会による「新入社員研修セミナー・フォローアップ」が11月30日那覇市の沖縄産業支援センターで開催されました。

入社から半年が経過し、徐々に仕事に慣れてきた時期の新入社員がさらに高い意識を持って日々の職務に取り組むこと、職場環境や業務内容に関する個々の悩みを解消すること等を目的に毎年行われており、今年度も多くの新入社員が参加しました。

講師を務めた株式会社目加田経営事務所部長・チーフコンサルタント根橋弘行氏は、日本の国際競争力や製造業の労働生産性の推移を説明し、めまぐるしく変化する環境に対応するための心得を説きました。

4月に行われた新入社員セミナーからさらに実践的なグループ討議と実習が行われ、グループ討議では、グループ内で名刺を交換し、コミュニケーションを取りながら、司会、議事録など役割を振り分け、「私たちに期待される姿、そのためにチャレンジすること」をテーマに、それぞれが経験した失敗から学んだこと、上司や先輩から受けたアドバイス等を取り入れながら討議を進め、発表を行いました。

また、実習では自身のチャレンジについてさらに深く考える「私のコミットメント作成」が行われ、個人、チームでの実習を通して、表現力や問題解決力を高めました。

根橋氏は、若い新入社員に向け、「明確な目的を設定し、達成に向けて努力することが大切」とし、社会の中で活躍できる人材となるよう激励。また、参加した新入社員の個別相談にも対応し、それぞれの分野や環境についてじっくり話を聞きながら、的確なアドバイスを送っていました。

沖縄県工業連合会副会長・人材育成委員会委員長仲田龍男氏は、「沖縄経済は現在上昇傾向にあり、今後さらなる発展を遂げるためにも、優秀な人材が育つことは重要。みなさんの力で沖縄の産業をより進化させてほしい」と、期待をこめて挨拶しました。

セミナーに参加した食品関連会社社員は、「日々の職務に追われて自己評価や目標設定にまで頭が回っていなかった。自分自身を見つめなおし、しっかりと仕事に向き合うためのよい機会になった」と感想を述べました。



(公社)沖縄県工業連合会副会長
人材育成委員会委員長
仲田龍男氏



株式会社目加田経営事務所部長
チーフコンサルタント
根橋弘行氏



平成28年度

学校と産業界の 交流事業

平成28年11月25日(金)

沖縄県立具志川職業能力開発校

「学校と産業界の交流事業」は、将来を担う学生たちに地場産業への理解を深めてもらうことを目的に平成17年度より実施されており、主に沖縄県内の小学校、中学校、高等学校を対象に、県内企業・団体から講師を派遣、ものづくりのすばらしさや仕事の意義、地場産業、環境に関する問題提起等を行っています。

この事業の一環として、11月25日、沖縄県立具志川職業能力開発校にて、株式会社佐喜眞義肢代表佐喜眞保氏による講演が行われました。株式会社佐喜眞義肢は、義肢装具の開発・製作・販売・修理、リハビリ機器・杖・整形靴・関節装具の製品開発を主に手掛けて

おり、オリジナル製品である「CBブレース(膝装具)」は独自構造による軽量で良好な装着感、医療機器としての回復効果等が評価され、文部科学大臣賞や経済産業大臣賞等数々の賞を受賞しています。

講演では、「取り戻そう歩く喜び」人の出合いが、私の成長」をテーマに、佐喜眞氏自身がこれまでに体験した様々な苦難と試練、創業以来積極的に取り組んできた商品開発・普及活動について話しました。CBブレースを利用した人たちのインタビュー映像やプロスポーツ選手が使用した実績も紹介され、生徒たちの関心を集めていました。

佐喜眞氏は「半身マヒの女性のために装具を作ろう」と決意したのが起業のきっかけ。人々の喜ぶ顔が生きがいである」と語り、多くの人との出会いによって会社を成長させてきた経験を基に、出会いの大切さ、あきらめずに挑戦することの素晴らしさについて説きました。さらに、生徒たちが実際に商品を着用して歩行する体験型のコンテンツも用意されており、生徒たちは最後まで飽きることなく熱心に講演に耳を傾けていました。苦難を乗り越えて挑戦を繰り返してきた佐喜眞氏の体験談は、多くの生徒が感銘を受けたようでした。



講演会では実際に装具を着用する体験も行われました。



平成28年春・秋の叙勲・褒章 県功労賞・沖縄タイムス賞・琉球新報賞 受賞者合同祝賀会

平成28年12月5日(月)



【受賞者代表】
元沖縄県副知事
牧野浩隆氏(瑞宝小綬章)



沖縄県
翁長雄志 知事



那覇市
城間幹子 市長



内閣府沖縄総合事務局
能登 靖 局長



沖縄県商会議所連合会
石嶺伝一郎 会長



沖縄県経営者協会
安里昌利 会長

春・秋の叙勲・褒章、県功労賞、沖縄タイムス賞・琉球新報賞受賞者合同祝賀会が12月5日に開催され、会場となったザ・ナハテラス(那覇市)は多くの出席者で賑わいました。

今年度も各分野で功績を残した企業人、文化人が各賞を受賞しており、合同祝賀会では多くの人々から祝福を受けました。

主催団体代表として挨拶した沖縄県商工会議所連合会石嶺伝一郎会長は、「受賞者の皆様が沖縄に残した影響は大きい」として、受賞者の功績に改めて敬意の念を表しました。

沖縄県翁長雄志県知事、那覇市城間幹子市長、内閣府沖縄総合事務局能登靖局長も祝辞を述べ、一年の締め括りにふさわしい豪華な来賓を迎えて、華やかな会となりました。翁長知事は、「沖縄県の発展に取り組んでこられた受賞者の方々にお礼を申し上げるとし、受賞者ひとりひとりと言葉を交わしながら、その功績を讃えていました。

乾杯の挨拶は沖縄県経営者協会安里昌利会長が務め、「偉大な先輩方のおかげで今日の沖縄県の発展がある」とスピーチしました。

また、受賞者を代表して、平成10〜18年と2期8年にわたって沖縄県副知事を務めた牧野浩隆氏(瑞宝小綬章)が挨拶し、「歴史ある賞に選ばれた

春・秋の叙勲・褒章、県功労賞、沖縄タイムス賞・琉球新報賞受賞者合同祝賀会が12月5日に開催され、会場となったザ・ナハテラス(那覇市)は多くの出席者で賑わいました。

今年度も各分野で功績を残した企業人、文化人が各賞を受賞しており、合同祝賀会では多くの人々から祝福を受けました。

主催団体代表として挨拶した沖縄県商工会議所連合会石嶺伝一郎会長は、「受賞者の皆様が沖縄に残した影響は大きい」として、受賞者の功績に改めて敬意の念を表しました。

沖縄県翁長雄志県知事、那覇市城間幹子市長、内閣府沖縄総合事務局能登靖局長も祝辞を述べ、一年の締め括りにふさわしい豪華な来賓を迎えて、華やかな会となりました。翁長知事は、「沖縄県の発展に取り組んでこられた受賞者の方々にお礼を申し上げるとし、受賞者ひとりひとりと言葉を交わしながら、その功績を讃えていました。

乾杯の挨拶は沖縄県経営者協会安里昌利会長が務め、「偉大な先輩方のおかげで今日の沖縄県の発展がある」とスピーチしました。

また、受賞者を代表して、平成10〜18年と2期8年にわたって沖縄県副知事を務めた牧野浩隆氏(瑞宝小綬章)が挨拶し、「歴史ある賞に選ばれた

ことはいへん光栄で、身の引き締まる思い。これほど多くの方々に祝っていたいただき、感謝申し上げます」とお礼の言葉を述べました。

会場は受賞者とその家族、友人を中心に祝いの言葉と笑顔で溢れ、受賞者を囲んでの和気藹々とした時間となりました。

ことはいへん光栄で、身の引き締まる思い。これほど多くの方々に祝っていたいただき、感謝申し上げます」とお礼の言葉を述べました。

会場は受賞者とその家族、友人を中心に祝いの言葉と笑顔で溢れ、受賞者を囲んでの和気藹々とした時間となりました。



第33回 未来の科学の夢絵画展 表彰式

平成28年12月17日(土) 沖縄県立博物館・美術館講堂

子どもたちが抱く未来への夢・自由な発想を絵によって表現することで科学への関心を深め、想像力の発達を促すことを目的として毎年開催されている「未来の科学の夢絵画展」。北は北海道から南は沖縄まで全国各地で幼稚園から中学校までの児童・生徒たちを対象に作品が募集され、多くの優秀作品が集まりました。

沖縄県立博物館・美術館講堂で行われた授賞式には、児童・生徒たちが招かれ、賞状と記念品を受け取りました。審査委員長を務めた画家の大城謙

氏は「今年はすぐれた作品が多く、色彩が豊かに表現されていた。」を評し、例年以上のレベルの高さをうかがわせました。

主催者を代表して、一般社団法人沖縄県発明協会の新垣昌光会長も挨拶し、「表彰される皆さんには、様々な夢や希望を持ち続け、創造力を高めて、よりよい地域社会を作るために、自分の夢にチャレンジしていただきたい。」と子供たちの未来へ大きな期待を寄せました。

展)受賞者は77名となり、沖縄県発明協会会長賞に、糸満市立糸満南幼稚園 上原諒さん、那覇市立曙小学校2年 宮城悠愛さん、那覇市立開南小学校2年 宮城結惟さん、那覇市立真和志小学校5年 大田恭市さん、糸満市立糸満南小学校5年 上原一路さんの5名、優秀賞に10名、また佳作に21名、入選に41名が選出されました。

作品は沖縄県立博物館・美術館県民ギャラリーに展示され、多くの人々の目を楽しませていました。



(一社)沖縄県発明協会 新垣昌光会長



(一社)沖縄県発明協会 大城清利常務理事



【審査員長】画家・沖展会員 大城 謙氏

沖縄県発明協会 会長賞

「ピアニストてぶくろ」

(糸満市立糸満南幼稚園 上原 諒)

「記憶保存機」

(那覇市立 曙小学校2年 宮城 悠愛)

「ゴミを食べておいしい料理を作るロボットネコ」

(那覇市立開南小学校2年 宮城 結惟)

「どこでもお守りスーツ」

(那覇市立真和志小学校5年 大田 恭市)

「履くだけでエアクリーングリーンシューズ」

(糸満市立糸満南小学校5年 上原 一路)



琉球大学工学部後援会からのお知らせ

気象予測に基づく発電電力予測ならびに 需用電力予測による最適運用法

與那篤史(琉球大学工学部電気電子工学科・助教 yona@tec.u-ryuyuu.ac.jp)



【研究の紹介】

新エネルギー導入目標達成を目指す背景から風力発電機と太陽光発電設備の生産量および導入量は共に増加を続けており、今後さらにその普及が進むと考えられる。しかしながら、これらの自然エネルギーは希薄で変動が激しいという問題がある。特に風力発電電力は風速の3乗に比例して変動し、太陽光発電設備で得られる太陽光エネルギーは日射量、パネル面の温度などにより大きく変動する。そこで、風力発電機および太陽光発電設備により生じる電力変動を緩和して積極的に電力系統へ投入する目的から蓄電池等の電力貯蔵装置を併設する試みが有力視されているが、蓄電池等による設備コストの増加が課題として挙げられる。したがって、電力系統の効率的な運用と蓄電池等の有効活用を目的とした観点から一定時間先の風力発電機の出力電力予測ならびに太陽光発電設備の発電電力予測が対策の一つとして望まれ、様々な予測手法がある。

本研究では図1に示すように電力系統の効率的な運用を目的とした風速予測と日射量予測に基づく風力発電機と太陽光発電設備の発電電力予測を開発した。

図2に格子状の気象予報値を1時間毎で逐次的に補正した風力発電電力予測結果を示す。ただし、周囲が海に囲われた沖縄のような離島地域では気象観測地点が少なく、気象予測モデルの解像度に対して島の大きさが小さいことから、広域を対象とした予測と比較すると、精度が低くなる傾向にある。そこで、予測精度向上を目的として、図3に示すようにIoT(Internet of Things:モノのインターネット)を活用した自然エネルギーならびに需用電力の先進的予測手法による最適運用法の立案を試みている。



図1 気象予報値による発電電力予測

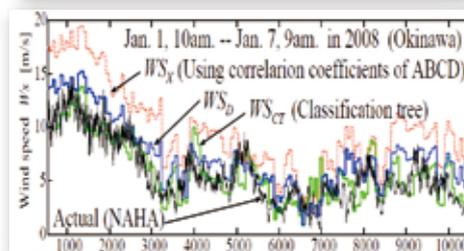
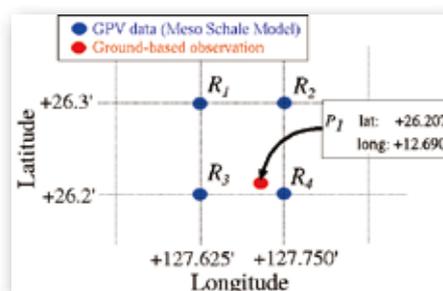


図2 格子状の気象予報値を活用した電力予測結果



図3 IoTを活用した電力系統の最適運用

琉球大学工学部後援会事務局

TEL:098-895-8719 FAX:098-988-4614

沖縄高専だより Okinawa National College of Technology



第12回 沖縄高専フォーラム・情報交換会を開催しました

沖縄高専では、11月30日(水)に那覇市内のホテルにおいて、「沖縄高専～産学連携の取り組み～」をテーマに「第12回沖縄高専フォーラム・情報交換会」を開催しました。

当日は、本校校長 安藤安則の開会の挨拶に始まり、沖縄高専産学連携協力会会長 呉屋守章氏の挨拶が行われました。引き続き行われた講演では、熊本高等専門学校人間情報システム工学科教授 清田公保氏、日本弁理士会九州支部高専委員会委員長 下田正寛氏、本校メディア情報工学科教授 タンスリヤボンスリヨン、また、同学科の講師 鈴木大作の4氏より沖縄高専のこれまでの取り組みや今後の在り方、期待することについて事例等が発表されました。

これから沖縄高専はどうあるべきか、沖縄高専が沖縄県のみならず広域連携の取り組みとして、県外に目を向け沖縄県全体の発展に寄与する期待感は、今後の沖縄高専の取組みについて考える糧となり、有意義で貴重なフォーラムとなりました。

フォーラム終了後に行われた情報交換会の会場では、本校学生による研究成果ポスター展示が行われ、多くの出席者が興味深く見入ったり、学生に質問している姿が見受けられました。また、昨年度に引き続き、出席者による企業紹介も行われ、出席者は和やかな雰囲気の中で交流を深め、本校への県内における産学及び行政機関、金融機関との産学官金連携の推進を期待する声が多く寄せられました。



開会の挨拶
(沖縄工業高等専門学校 安藤安則校長)



挨拶
沖縄高専産学連携協力会 呉屋守章会長



講演の様子



乾杯の挨拶
(公社)沖縄県工業連合会 桑江修専務理事



学生による研究成果ポスター展示

沖縄工業高等専門学校産学連携協力会事務局(担当:喜屋武)

〒905-2192 名護市字辺野古905番地 TEL:0980-50-0133(直通)・FAX:0980-55-4012
E-mail:sangaku@m1.cosmos.ne.jp ホームページ: <http://www.cosmos.ne.jp/~sangaku/>





海洋ロボットコンペティションin沖縄 —沖縄海洋ロボットコンテスト— Underwater Robotics Competition in Okinawa



第2回沖縄海洋ロボットコンペティション(主催:琉球大学地域連携推進機構等)が、H28/11/18~20において開催されました。AUV部門(機体に取り付けた各種センサからの情報を基に、あらかじめ入力したプログラムに則って、自律航行するロボット)、ROV部門(操作者が、機体に搭載したカメラから送られてくる映像を見ながら、コントローラで遠隔操縦するロボット)、フリー部門(魚のような挙動等、独創的または先進的な要素を持つロボット)が設けられ、各競技に九州・沖縄を中心に全国の大学や高等専門学校、企業から12チームが出場しました。

各ロボットとも完成度が高く、安定して航行/潜航したことから、どの競技も接戦となりましたが、当校は、AUV部門で最優秀賞、ROV部門で優秀賞を受賞することができました。

競技	成績	出場校および企業 (五十音順)
AUV 部門	最優秀賞 (1位)	沖縄職業能力開発大学校、九州職業能力開発大学校、九州工業大学
ROV 部門	優秀賞 (3位)	(有) イケハウス、沖縄職業能力開発大学校、沖縄高等専門学校、九州職業能力開発大学校、長崎大学、日本文理大学、琉球大学



【競技会場 (那覇市:うみそら公園)】



【ニライ号 (AUV 部門)】

「沖縄ポリテックビジョン2017」開催

「ものづくりで豊かになろう、沖縄」【H29/2/25(土) 10:00~11:00】
(国研)産業技術総合研究所 製造技術研究部門 名誉リサーチャー 森和男氏

技能五輪選手による実演セミナー

●旋盤【H29/2/24(金) 14:00~16:00】

●建築大工、レストランサービス【H29/2/25(土) 13:00~15:00】

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 **沖縄職業能力開発大学校**

〒904-2141 沖縄県沖縄市池原2994-2 TEL. 098-934-6282 FAX. 098-934-6287

<http://www3.jeed.or.jp/okinawa/college/> ※メルマガ会員募集中! <http://www.jeed.or.jp/merumaga/index.html>



工業技術センターだより Okinawa industrial technology center

<伸びゆく沖縄・支える技術>



沖縄の海から泡盛を造る!

2010年4月に、瑞泉酒造株式会社より「琉球泡盛に就いて」(1924年出版: 田中愛穂著)をヒントに、海をコンセプトとした「沖縄らしさ」を十分にアピールできる新商品として、海水を使用した泡盛を開発したいと相談がありました。そこで、環境からの汚染が少なく、性状が安定している海洋深層水を使用した泡盛の開発を目指して、工業技術センターと瑞泉酒造株式会社での共同研究を開始しました。
(平成22年度単式蒸留焼酎に係る委託調査事業を活用)

●発酵に与える影響

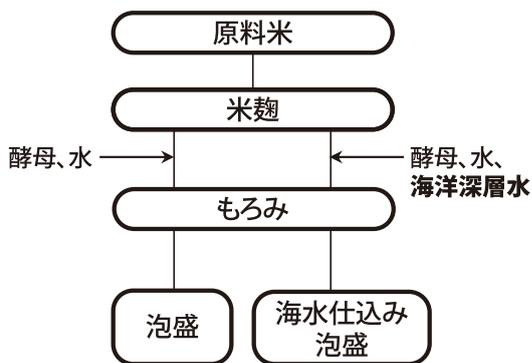
海洋深層水にはマグネシウムなどのミネラルが多く含まれており、泡盛の発酵に影響する可能性が考えられました。そこで、通常使用する水に対し海洋深層水の添加割合を0%から100%とした場合の発酵試験を行ったところ、6~25%添加することで、デンプン糖化速度の向上、アルコール生成の向上が確認され、泡盛の発酵に良い効果をもたらすことを確認しました。

●風味への影響

海洋深層水の添加が泡盛の風味へどのように影響するのかを官能評価で確認したところ、通常の水を使った場合と比べて、フルーティーで華やかな香りとなり、甘さの感じられる泡盛となりました。

泡盛の原料は「米麹、水」と厳しく決められていますが、海水を使用しても琉球泡盛と表示できることとなりました。県内初の海水仕込み泡盛「瑞泉 碧」は、2017年1月4日より、土産品店やスーパーなどで購入できます。

泡盛の製造方法



蒸留するので、泡盛の中に塩分は含まれません。



海水仕込み泡盛

ブルー
瑞泉 碧

風味

華やか、フルーティーな香り
ほのかに甘く軽い口当たり

おすすめの飲み方

水割り、ロック

商品名とラベルは、
第40回沖縄の産業まつりで
行われたアンケートと投票から
決定しました。

沖縄県工業技術センターは、県内製造業への技術的支援を通して産業の活性化に貢献することを使命として事業に取り組んでいます。「製品の開発に関して技術的なアドバイスがほしい」、「製品の品質を上げたい」、「研究開発の支援がほしい」などの技術課題解決や新製品・新技術開発への支援が必要な場合にはお気軽にご相談下さい。

沖縄県工業技術センター (技術支援班/企画管理班)

〒904-2234 沖縄県うるま市字州崎12番2 TEL:098-929-0111・FAX:098-929-0115
E-mail:kousi@pref.okinawa.lg.jp (メルマガを始めています。HPより登録ができます。)

●ホームページ: <http://www.pref.okinawa.jp/site/shoko/kogyo/index.html>

登録・利用料
無料



国際競争力を高める人材探しを応援します

PARTNER

Participatory network for expert recruitment

PARTNER

検索



<http://partnerjica.go.jp/>

企業・団体の方へ

JICAは「PARTNER」という国際協力キャリア情報サイトを運営しています。
PARTNERでは、国際協力の経験や実績、専門知識・スキルを持った人材と、そのような人材を求めている企業・団体とを様々な情報を通じて繋ぐことを目指しています。
団体登録を行うことで、PARTNERの団体向け各種サービスをご利用いただけます。

◆PARTNERの団体登録は2種類あります。◆

簡易登録

登録人材(希望者のみ)のプロフィール閲覧・オファーメールの送信が可能です。

国際協力団体

さらに、国際協力団体に登録すると、求人情報が掲載できます。

登録人材
2万人
以上!!



独立行政法人 国際協力機構(JICA)



<https://www.facebook.com/jicapartner>

県内唯一!

サッシ形材製造



沖縄の気候風土に合った製品を提供!

サッシ・
雨戸の事なら



金秀アルミに



お・ま・か・せ♪



ホテルオリオンモトブリゾート&スパ

モトブオリオンリゾート&スパ、那覇新都心リュークスタワー、
リーガロイヤルグラン沖縄の施設等で我が社の製品が採用されています!

那覇新都心に完成した地上30階建ての「リュークスタワーマンション」で採用されました主力製品「ハイパーサッシ」は、当社風洞試験において「96m/秒」相当の風圧に耐えられる事が実証されています。

秀 金秀アルミ工業株式会社
<http://kanehide-alumi.com/>

管理本部 098-835-8100
営業本部 098-835-8101・8102
生産本部 098-835-8104・8105